

# 特許協力条約

PCT

特許性に関する国際予備報告（特許協力条約第二章）

（法第12条、法施行規則第56条）  
〔PCT36条及びPCT規則70〕

出願人又は代理人 の書類記号 PCT01-05023	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP2005/005041	国際出願日 (日.月.年) 15.03.2005	優先日 (日.月.年) 31.03.2004
国際特許分類 (IPC) Int.Cl. G01C21/36(2006.01), G08G1/09(2006.01), G09B29/00(2006.01), G09B29/10(2006.01)		
出願人（氏名又は名称） バイオニア株式会社		

1. この報告書は、PCT35条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。 法施行規則第57条（PCT36条）の規定に従い送付する。
2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で <u>4</u> ページからなる。
3. この報告には次の附属物件も添付されている。 a. <input checked="" type="checkbox"/> 附属書類は全部で <u>5</u> ページである。  補正されて、この報告の基礎とされた及び／又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び／又は図面の用紙（PCT規則70.16及び実施細則第607号参照）  第I欄4. 及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙
b. <input type="checkbox"/> 電子媒体は全部で _____ (電子媒体の種類、数を示す)。 配列表に関する補充欄に示すように、電子形式による配列表又は配列表に関連するテープルを含む。 (実施細則第802号参照)
4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。
<input checked="" type="checkbox"/> 第I欄 国際予備審査報告の基礎 <input type="checkbox"/> 第II欄 優先権 <input type="checkbox"/> 第III欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成 <input type="checkbox"/> 第IV欄 発明の単一性の欠如 <input checked="" type="checkbox"/> 第V欄 PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明 <input type="checkbox"/> 第VI欄 ある種の引用文献 <input checked="" type="checkbox"/> 第VII欄 国際出願の不備 <input type="checkbox"/> 第VIII欄 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 02.11.2005	国際予備審査報告を作成した日 04.07.2006
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号 100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官（権限のある職員） 竹下 晋司 電話番号 03-3581-1101 内線 3316

## 第I欄 報告の基礎

1. 言語に関し、この予備審査報告は以下のものを基礎とした。

出願時の言語による国際出願

出願時の言語から次の目的のための言語である \_\_\_\_\_ 語に翻訳された、この国際出願の翻訳文

国際調査 (PCT規則12.3(a)及び23.1(b))

国際公開 (PCT規則12.4(a))

国際予備審査 (PCT規則55.2(a)又は55.3(a))

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条 (PCT14条) の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

出願時の国際出願書類

明細書

第 1-13 \_\_\_\_\_ ページ、出願時に提出されたもの  
 第 \_\_\_\_\_ ページ\*、 \_\_\_\_\_ 付けて国際予備審査機関が受理したもの  
 第 \_\_\_\_\_ ページ\*、 \_\_\_\_\_ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

請求の範囲

第 \_\_\_\_\_ 項、出願時に提出されたもの  
 第 \_\_\_\_\_ 項\*、PCT 19条の規定に基づき補正されたもの  
 第 1,3-5,8 \_\_\_\_\_ 項\*、02.11.2005 付けて国際予備審査機関が受理したもの  
 第 11-16 \_\_\_\_\_ 項\*、15.06.2006 付けて国際予備審査機関が受理したもの

図面

第 1-5 \_\_\_\_\_ ページ/図、出願時に提出されたもの  
 第 \_\_\_\_\_ ページ/図\*、 \_\_\_\_\_ 付けて国際予備審査機関が受理したもの  
 第 \_\_\_\_\_ ページ/図\*、 \_\_\_\_\_ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3.  補正により、下記の書類が削除された。

明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ  
 請求の範囲 第 2,6,7,9,10 \_\_\_\_\_ 項  
 図面 第 \_\_\_\_\_ ページ/図  
 配列表 (具体的に記載すること)  
 配列表に関するテーブル (具体的に記載すること) \_\_\_\_\_

4.  この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかつたものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ  
 請求の範囲 第 \_\_\_\_\_ 項  
 図面 第 \_\_\_\_\_ ページ/図  
 配列表 (具体的に記載すること)  
 配列表に関するテーブル (具体的に記載すること) \_\_\_\_\_

\* 4. に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条（PCT35条(2)）に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

## 1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲 1, 3-5, 8, 11-16	有
	請求の範囲	無
進歩性 (I S)	請求の範囲 1, 3-5, 8, 11-16	有
	請求の範囲	無
産業上の利用可能性 (I A)	請求の範囲 1, 3-5, 8, 11-16	有
	請求の範囲	無

## 2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

文献1 : JP 2000-304559 A (株式会社ザナヴィ・インフォマティクス) 2000.11.02,  
第10欄第23行-第14欄第17行、第10-12図 ファミリーなし

文献2 : JP 2003-269971 A (株式会社デンソー) 2003.09.25,  
第8欄第12行-第10欄第3行、第3-5図 ファミリーなし

文献3 : JP 9-304101 A (松下電器産業株式会社) 1997.11.28,  
第3欄第11-37行、第2図 ファミリーなし

文献4 : JP 11-72344 A (富士通テン株式会社) 1999.03.16,  
第5欄第6-17行、第2図 ファミリーなし

請求の範囲 1, 3-5, 8, 11-16に係る発明は、国際調査報告に引用された  
いずれの文献にも記載されておらず、当業者にとって自明なものでもない。

## 第VII欄 国際出願の不備

この国際出願の形式又は内容について、次の不備を発見した。

請求項 1 2 には、「前記目標物判別手段によって案内地点の目標物に変更がないと判別された場合には前記受信画像の識別度が前記既存画像の識別度より高いか否かを判別する識別度判別手段と、前記識別度判別手段によって前記受信画像の識別度が前記既存画像の識別度より高いと判別された場合には前記受信画像に前記案内地点の識別度を加えて前記記憶手段にデータとして記憶させる手段と、をさらに備えたことを特徴とする請求項 1 1 記載のサーバ。」と記載されている。

しかし、明細書第 1 1 ページのステップ S 4 9 及び 5 0 の記載を参照するに、当該記載は、「前記目標物判別手段によって案内地点の目標物に変更がないと判別された場合には前記受信画像の明瞭度が前記既存画像の明瞭度より高いか否かを判別する明瞭度判別手段と、前記明瞭度判別手段によって前記受信画像の明瞭度が前記既存画像の明瞭度より高いと判別された場合には前記受信画像に前記案内地点の識別度を加えて前記記憶手段にデータとして記憶させる手段と、をさらに備えたことを特徴とする請求項 1 1 記載のサーバ。」の誤記である。

## 請求の範囲

1. (補正後) 移動体の移動道路上の予め定められた案内地点の画像を表示する経路案内システムであって、

前記移動体外に備えられ複数の案内地点における画像をデータとして記憶した記憶手段と、

前記移動体の現在位置から次の案内地点までの距離を検出する距離検出手段と、

前記距離検出手段によって検出された距離が第1所定距離以下になった場合には前記次の案内地点の画像要求を発生する画像要求発生手段と、

前記移動体外に備えられ前記画像要求に応答して前記次の案内地点の画像を前記記憶手段から読み出して前記移動体に対して送信する送信手段と、

前記移動体において前記送信手段から送信された画像を受信して表示装置に表示させる表示制御手段とを備え、

前記移動体は車両であり、

前記距離検出手段及び前記画像要求発生手段は、前記表示装置及び前記表示制御手段と共に前記車両に備えられた端末装置内に備えられ、

前記記憶手段及び送信手段は、前記車両外に配置されたサーバからなり、

前記端末装置は、前記距離検出手段によって検出された距離が前記第2所定距離より短い第3所定距離以下になった場合には前記端末装置に備えられたカメラによって撮影された前記車両前方の画像を前記車両の現在位置、進行方向及び次の案内地点からなる画像付加情報と共に前記サーバに送信する送信手段を備え、

前記サーバは、前記端末装置の前記送信手段から送信された画像及び画像付加情報を受信する受信手段と、

前記受信手段によって受信された画像付加情報に示された現在位置、進行方

向及び案内地点を含む画像条件を満たす画像が前記記憶手段に記憶されているか否かを判別する画像判別手段と、

前記判別手段によって前記画像条件を満たす画像が記憶されていないと判別された場合には前記受信手段によって受信された画像を前記記憶手段にデータとして記憶させる手段とを備え、

前記サーバは、前記受信手段によって受信された画像に応じてその受信画像が表す案内地点の識別度を設定する識別度設定手段と、

前記判別手段によって前記画像条件を満たす画像が記憶されていると判別されたときにその記憶されている既存画像と前記受信画像とのマッチングを行って案内地点の目標物に変更があるか否かを判別する目標物判別手段と、

前記目標物判別手段によって案内地点の目標物に変更があると判別された場合には前記受信画像を前記記憶手段にデータとして記憶させる手段と、を備えたことを特徴とする経路案内システム。

2. (削除)

3. (補正後) 前記画像要求は、前記移動体の現在位置、進行方向及び次の案内地点を情報として含むことを特徴とする請求項1記載の経路案内システム。

4. (補正後) 前記端末装置は、車両の現在地から目的地までの経路を設定する経路設定

手段を更に備え、

前記距離検出手段は、車両の現在位置から前記経路設定手段による設定経路上の次の案内地点までの距離を検出することを特徴とする請求項3記載の経路案内システム。

5. (補正後) 前記端末装置は、車両前方を撮影するカメラを更に備え、

前記表示制御手段は、前記距離検出手段によって検出された距離が前記第1所定距離より短い第2所定距離以下になった場合には前記カメラによって撮影された前記車両前方の画像を表示装置に表示させることを特徴とする請求項3または4記載の経路案内システム。

6. (削除)

7.

8. 前記サーバは、前記目標物判別手段によって案内地点の目標物に変更がないと判別された場合には前記受信画像の識別度が前記既存画像の識別度より高いか否かを判別する識別度判別手段と、

前記識別度判別手段によって前記受信画像の識別度が前記既存画像の識別度より高いと判別された場合には前記受信画像を前記記憶手段にデータとして記憶させる手段と、を備えたことを特徴とする請求項1記載の経路案内システム。

9.

10.

11. (追加) 車両の移動道路上の予め定められた案内地点の画像を管理するサーバであって、

記憶手段と、

前記画像を前記車両に付設された端末装置から受信する受信手段と、

前記受信手段によって受信された画像に応じてその受信画像が表す案内地点の識別度を設定する識別度設定手段と、

前記受信画像に付加された付加情報に示された画像条件を満たす画像が前記記憶手段に記憶されている場合、当該記憶されている既存画像と前記受信画像とのマッチングを行って案内地点の目標物に変更があるか否かを判別する目標物判別手段と、

前記目標物判別手段によって案内地点の目標物に変更があると判別された場合には前記受信画像に前記案内地点の識別度を加えて前記記憶手段にデータとして記憶させる手段と、

を備えたことを特徴とするサーバ。

12. (追加) 前記目標物判別手段によって案内地点の目標物に変更がないと判別された場合には前記受信画像の識別度が前記既存画像の識別度より高いか否かを判別する識別度判別手段と、

前記識別度判別手段によって前記受信画像の識別度が前記既存画像の識別度より高いと判別された場合には前記受信画像に前記案内地点の識別度を加えて前記記憶手段にデータとして記憶させる手段と、をさらに備えたことを特徴とする請求項11記載のサーバ。

13.（追加）前記画像条件は前記車両の現在位置、進行方向及び案内地点を含むことを特徴とする請求項11記載のサーバ。

14.（追加）前記車両の現在位置から次の案内地点までの距離が第1所定距離以下になった場合に前記端末装置が生成する画像要求に応答して、前記次の案内地点の画像を前記記憶手段から読み出して前記端末装置に対して送信する送信手段をさらに備えたことを特徴とする請求項11記載のサーバ。

15.（追加）前記受信手段が前記端末装置から受信する画像は、前記車両の現在位置から次の案内地点までの距離が前記第1所定距離より短い第2所定距離以下になった場合に、前記端末装置に設けられたカメラにより撮影された前記車両前方の画像であることを特徴とする請求項14記載のサーバ。

16.（追加）前記画像条件を満たす画像が前記記憶手段に記憶されていない場合には前記受信画像に前記案内地点の識別度を加えて前記記憶手段にデータとして記憶させる手段をさらに備えたことを特徴とする請求項11記載のサーバ。